



## IPv6 組み込み管理コンポーネント

- [Syslog \(1 ページ\)](#)
- [Syslog over IPv6 の設定 \(1 ページ\)](#)
- [例 : Syslog over IPv6 の設定 \(2 ページ\)](#)

### Syslog

IPv6 における Cisco システム メッセージ ロギング (syslog) プロセスを使用すると、ユーザは IPv6 アドレスを指定して syslog メッセージを外部の syslog サーバやホストに記録できます。この実装では、ユーザはホストの IP アドレスを IPv4 形式 (たとえば、192.168.0.0) または IPv6 形式 (たとえば、2001:DB8:A00:1::1/64) で指定して、IPv4 ベースのロギング ホスト (syslog サーバ) を指定できます。

### Syslog over IPv6 の設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例 : Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"><li>• パスワードを入力します (要求された場合)。</li></ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>logging host</b> <i>{{ip-address   hostname}   {ipv6 ipv6-address   hostname}}</i> [ <b>transport</b> <i>{udp [port port-number]   tcp [port</i>	リモート ホストへのシステム メッセージおよびデバッグ出力を記録します。

## 例 : Syslog over IPv6 の設定

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>port-number [audit]] [xml   filtered [stream stream-id]] [alarm [severity]]</code>  例 :  <code>Device(config)# logging host ipv6 AAAA:BBBB:CCCC:DDDD::FFFF</code>	

## 例 : Syslog over IPv6 の設定

```
Device(config)# logging host ipv6 AAAA:BBBB:CCCC:DDDD::FFFF transport tcp port 1470
```